

# 令和5年度児童発達支援さくらんぼ事業所自己評価シート

保護者、職員に下記の内容でアンケートを実施し、その結果を事業所内で評価を抽出し、分析、改善への取り組みを考察しました。

## 【アンケート調査の概要】

### 【保護者、職員共通項目】

- 1 サービス提供時の環境面について
- 2 児童への支援内容について

### 【保護者向け項目】

- 1 関係機関との連携について
- 2 保護者への説明責任・信頼関係について
- 3 非常時の対応について
- 4 満足度について

### 【職員向け項目】

- 1 適切な支援の提供について
- 2 関係機関や保護者との連携について
- 3 保護者への説明について
- 4 リスク管理について

\*評価の抽出は別紙をご参照下さい。

## アンケートの考察

### ・室内の構造化への配慮について

→前回よりは保護者から評価を頂けている。『構造化』について職員研修を行い、認識は得られたと思うが、まだ、理解し、各々で考察できるまでは至っていない。これからも個々の『構造化』支援が行えるよう職員のスキル向上を目指す。間取りの都合もあるが、取組み続けていく。

### ・バリアフリー化への配慮について

→事業所へ訪問する機会が少ないこともあってか、保護者評価が低めだった。  
パンフレットに記載し、認知を広げる。

### ・入口がわかりにくい

→奥まった壁に「児童ダイルーム さくらんぼ」と掲示はしているが、わかりにくい。  
柵に事業所名を掲示する。ケアプラの案内図に掲示する。

### ・共通理解がされていないと感じている

→毎日、営業後の支援の振り返りは行っており、情報提供も行っているが、タイムリーに共有が行えきれない事はある。固定の担当制ではないので、日々の変化状況はタイムラグが生じる場合はある。  
連絡帳の共有、面談の共有、相談後の共有、送迎時の相談共有を引き続き行い、タイムリーに共有できるように努力する。ミーティングファイルの活用方法を見直す。

### ・活動プログラムの立案

→相談する事はあっても、立案は常勤がほぼ行っていた。次年度は全職員が関わる体制を整える

・保護者からの面談、相談は随時受け付けているが、伝わっていない。わかりやすい内容にして、アナウンスする。

・相談窓口のアナウンス

→今年度取り組みなかった。次年度、改善を目指す。

・地域に開かれた事業運営

→地域との行事参加については、保護者の意向もあるので、丁寧に対応する。

地域の方に事業を伝えていく点では、掲示板を活用する取り組みを検討する。

・活動報告に写真が載っていない

→年間で児童が掲載できるように対応はしている。しかし、支援と安全第一が最優先であり、撮影出来ない事も多い。保護者の方にはここを説明して、理解して頂くことが必要である。

・ホームページの見直し

→ホームページを見て、利用を検討する人が増えている。事業内容がわかりやすい掲載を追加する。評価アンケートを全て載せており、ある意味口コミのような内容だから、見てほしい。閲覧している保護者もいるが、『評価アンケート』のネーミングが閲覧を遠ざけているか？興味を持ってもらえる名称に変えた方が良くと思う。

分析・検討してみて…

事業所の強み

・支援前後のミーティング、ミーティングファイルの活用で、

支援前の情報共有、支援後の振り返り  
気付き、リスク、改善点を共有し、

支援に反映させている。支援会議も含め  
て、職員の支援上の悩みなども共有し、

職員が一人で抱え込まない環境に配慮  
している。

・毎月の会議でリスクマネジメントの一貫で職員間での助け合い、支援の配慮の  
気付きなどを発表する事で接遇への意識づけを  
図っている。虐待防止等にも繋がっていく。

・児童が楽しめて、飽きる事のない活動  
プログラムを提供できている。

事業所の改善点

・パンフレットにバリアフリーの事を  
掲載する。

・相談窓口を随時受け付けているが、  
わかりやすいアナウンスをする。

・地域に開かれて事業運営として、  
掲示板を活用し、事業所の紹介をする。

・参観週間、茶話会の機会を増やす。

・活動プログラムの立案を全職員で関われ  
る体制を整える。

・情報発信が弱い。

## 事業所の改善への取り組み

- ・パンフレットにバリアフリーの事を掲載する。
  - ・相談窓口を随時受け付けているが、わかりやすいアナウンスをする。
  - ・地域に開かれて事業運営として、掲示板を活用し、事業所の紹介をする。
  - ・参観週間、茶話会の機会を増やす。
  - ・活動プログラムの立案を全職員で関われる体制を整える
  - ・入口がわかりにくい
- 奥まった壁に「児童ダイルーム さくらんぼ」と掲示はしているが、わかりにくい。  
柵に事業所名を掲示する。ケアプラの案内図に掲示する。
- ・職員全体が専門性を感じてもらえるように研修、指導を行っていく。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・前年度の取り組みで今回の評価の改善が行えたので、そこは継続していかなければいけない。
- ・職員のアンケート結果より関係は良好であると思う、風通しの良い環境に気を付けていきたい。

事業所名 さくらんぼ  
担当者 吉田 優美